令和3年10月吉日

各大学監督・主務　殿

関西学生剣道連盟

会長　　久徳博文

新人戦に代え、新大会開催に至った経緯について

従来の新人戦は2年生以下で、男子団体戦（５人戦）、女子個人戦（各大学最大3名）となっているが、毎年登録者数が減り続けるなか、男子では団体戦が組めない、女子も1名または2名の参加ののみとなるなど、大会そのものの在り方を議論しなくてはならない状況になってきた。このため新人戦について数年に渡り検討を続け、各大学からもアンケート等により意見を求めてきた。（今秋のアンケートでも従来同様の新人戦を求める声は19/51で過半数に至っていない）

この間の議論を踏まえ、現在の大学剣道界の厳しい現状も加味した上で従来の新人戦を発展的に解消し、関西全体の学生剣道の活性化により寄与する大会を新設すべきとの結論に至った。

その際にはより多くの学生に試合参加の機会を与えるという観点と代替わりした新体制でのスタート時点の力量を図るという観点を考慮し、次の2点を採用した。

1. 男女とも団体戦、3回生の出場を可とする
2. 各大学剣道部の実情に合わせたチーム編成を可能にし、チーム事情に応じた力量が図れるようなグループ分けを行う

以上により、新人戦に代わる新規の大会は次のような大会とする。

1. 男女とも2グループ制とする。各大学参加できるのは男女とも、どちらかのグループに1チームのみ。参加資格者は1年生から3年生までとする。（4年生を除く全部員対象とする）
2. 男子は7人戦グループと５人戦グループの団体戦とする。
3. 女子は5人戦グループと3人戦グループの団体戦とする。
4. どちらのグループに参加するかは、各大学が申込時に意思決定して申し込む。
5. 男子5人未満、女子3人未満の大学は、複数大学での合同チームで、男子5人、女子3人の団体戦の部への参加を許可する。その場合は関西学生連盟に事前に相談すること。

関西学生剣道連盟では、今後とも学生剣道の活性化を図るため努力していきます。

ご理解・ご協力お願いします。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上